

# 昭和地区5校園 閉校セレモニー

総社市昭和地区の市立幼稚園小中学校計5校園が4月、幼稚園併設型の小中一貫義務教育学校「昭和五つ星学園」として開校するのを前に、各校園の閉校セレモニーが行われ、子どもたちや住民が最後の思い出を刻んだ。

同市原の維新小と維新幼稚園、同市美袋の昭和中和と昭和小、昭和幼稚園の5校園。

1876年創立の維新小と1955年開園の維新幼稚園の閉校式は22日に同小で

あり、出席者が校歌、園歌を歌い上げた。6年生6人が出来事を振り返り「過ごしたことに誇りを持ち、力強く歩んでいく」と宣誓。校庭から風船を飛ばし、名残を惜しんだ。

1947年開校の昭和中は24日に閉校祭を開いた。生徒が市内のパン店と協力して維新、昭和両小の給食カレーの味を再現した「閉校カレーパン」200個を販売。前生徒会長の3年板野陸人さん(15)らが「節目の記念に考えた」といい、完売した。



思い出を振り返る維新小の児童 = 22日

総社

## 児童や住民 思い出刻む

義務教育学校  
来月開校

56年誕生の昭和小と61年誕生の昭和幼稚園の式典は25日、同小であり、教員有志のバンド演奏に合わせ、在校生と地域住民が校歌、園歌を合唱した。学園に進

学する6年伊藤慶人君(12)は「さみしい気持ちはあるけど、新しい学校での出会いも楽しみ。いい学校にしたい」と期待した。

(寺尾彰啓)



カレーパンを販売する昭和中の生徒 = 24日



教員有志のバンド演奏に合わせ、昭和小校歌を歌う児童と住民 = 25日